

東京都合気道連盟広報第二十九号

理事長挨拶



東京都合気道連盟
理事長 藤城清次郎

連日厳しい暑さが続きますが、皆様にはお健やかに過ごして頂きたいと思っております。又、平素皆様には東京都合気道連盟の活動に、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先の西日本の集中豪雨では多くの方が亡くなり、負傷し甚大な被害が発生しております。改めて被害に遭われた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて、去る四月七日(土) 日本教育会館に於いて、東京都合気道連盟第三十四回評議員会が開催されました。昨年度の事業報告、収支決算報告、本年度の事業計画案、収支予算案が全て承認されました。続いて、来年度から全日本合気道演武大会等の東京都合気道連盟の推薦する若手指導者演武について、都連演武大会出場者の中から公募したいと考えている事、都連との事務連絡方法につき、なるべくメールで対応をお願いしたい旨を表明させて頂きました。

当連盟では三つの主催行事が有ります。

六月の練成大会と秋の演武大会があり、残る一つに、昨年度スタートした『初心者指導法講習会』があります。去る七月二十九日(日)(一財)港区体育協会、港区合気道連盟のご協力を頂き、第二回『初心者指導法講習会』が開催されました。講師には合気会本部道場指導部小山雄二指導員にお願いし開催されました。参加者一〇八名を数え、多くの参加者に好評を頂きました。昨年度の参加資格について『加盟団体代表者が推薦する指導者又は次期指導者と位置付けされる初段から四段までの会員』でしたが、本年度は『三段以上』とさせて頂いた頂きました。来年度については、更に皆様のご意見を参考に企画に反映したいと思っております。

東京都合気道連盟は、言うまでも無く全日本合気道連盟最大の加盟団体であり合気会のお膝元としての重い立場にあります。東京都合気道連盟がしっかりとまとまり運営し、各道府県連の二本になれるようにならなければなりません。

結びに当たり、稽古では十分に熱中症にご留意なさり、又、稽古を出来る環境に感謝しつつ正しく合気道を学び広めて頂くしたいと思います。

皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げますと共に、更なる皆様のご指導ご支援を賜りたく存じます。

○発行日…平成三十年八月十日(金)
○発行…東京都合気道連盟
東京都新宿区若松町十七番十八号
(公財)合気会内
発行人…藤城清次郎
編集責任者…小林正明

第三十四回都連盟評議員会報告

平成三十年四月七日(土)十五時より千代田区一ツ橋日本教育会館に於いて、東京都合気道連盟第三十四回評議員会が開催された。

一六八団体中五十七名の評議員、委任状八十九名の計一四六名の出席をもって行われた。まず司会者である大田勤副理事長の開会の辞から始まり、続いて藤城清次郎理事長が議長となり議事に入った。

初めに「平成二十九年事業報告」が小林正明副理事長から報告された。続いて森智洋副理事長から「平成二十九年収支決算」が報告され、堀越祐嗣監事による「監査報告」後、承認された。

その後、小林副理事長から「平成三十年事業計画案」、森副理事長から「平成三十年収支予算案」が説明され、これらも承認された。

最後にその他に関する事項について、藤城議長から公式声明として以下のものが出された。

- 一、都連に加盟する団体は、地域連盟に関わりなく、各団体・道場ごとの加盟とする。
- 二、将来的には地域連盟が都連に加盟する在り方を旨とし、地域連盟設立の準備を進める。その在り方、規約については、全日

本連盟・都連・(公財)合気会との間に差違が生じないようにする。
三、全日本合気道演武大会等の若手指導者演武候補者の公募方法。
四、東京都合気道演武大会参加の呼びかけ
五、加盟団体への連絡手段をメール等の電子媒体に転換することについてのお願い。
十六時より評議員会会場に隣接する光琳の間に於いて、情報交換会が行われ、盛会裏に終わった。



平成三十年度東京都合気道錬成大会報告

平成三十年度東京都合気道錬成大会は、六月十六日(土)藤巻宏本部道場指導部師範をお迎えして、綾瀬の東京武道館で行われ、百五十名の参加があった。

十三時三十分、小林正明副理事長の開会の辞に始まり、まず藤巻清次郎理事長が「本日は多数参加を頂き、有り難うございます。この錬成大会は、都連三大大行事の一つであり、前々から準備してきました。どうか最後まで怪我のない様をお願いします。」と挨拶。

続いて藤巻師範から「錬成大会の講師は初めてですが、こうした錬成大会は、相互の交流の意味合いがあると思います。これから一時間半、最後までよろしくお願いします。」と挨拶。その後、藤巻師範を中心に記念撮影となった。

講習は、十三時四十分から準備体操、転換、四方斬り背伸運動に始まり、相半身、逆半身、半身半立ちの四方投げの間の、足の運び方を丁寧に説明された。その後は、正面打ち、横面打ち、後手首取りの一教から三教、両手取り天地投げ等も色々な捌き方を説明され、熱気でムンムンする中、十五時十五分に終了した。

その後、会場を移し、十六時四十五分から日本教育会館で情報交換会が行われ、藤巻理事長の主催者挨拶に始まり、全日本合気道連盟尾崎理事長、藤巻師範の挨拶、参加者の紹介など和气語々のうちに終了した。

(記：梶浦真)



生涯スポーツ優良団体表彰を受けて

生涯スポーツ優良団体の表彰を受けて

葛飾合気会副会長 宮田哲哉

この度は、東京都合気道連盟の推挙を受け、東京都体育協会より生涯スポーツ優良団体として表彰されました。大変名誉な事と、今回推挙いただきました東京都合気道連盟ほか関係団体に心より感謝申し上げます。

当会は昭和四十二年十二月に葛飾区で指導されていた清野裕三師範(初代会長)により設立されました。葛飾公会堂を稽古場所にして一般部を中心に稽古を続けていきましたが、清野先生が指導から離れた後は、合気会本部道場の宮本鶴蔵師範のご指導を受けておりました。

故林和夫二代会長、そして田中満夫現会長らに支えられながら稽古を続けていました。その後、昭和五十九年に新築された葛飾区総合スポーツセンターに稽古場所を移し、その年より菅原繁師範の指導を受けて現在に至っております。

設立当時は会員数も少なく、会員に月謝の前借りなどをしながら会を運営した事もあるとの苦労話を諸先輩から聞いた事もありましたが、現在では一般部の会員約五十名、少年部会員が約三十名ほどになり、週二回の稽古も活気ある充実した会に育ってまいりました。

葛飾区合気道連盟の所属団体である合気道土井道場、新小岩合気会と協力をしながら葛飾区体育協会の行事にも積極的に参

加、協力させていただいております。

年間に行われる事業には多くの保護者のご協力、ご理解を頂き、また運営に携わる現スタッフや会員には心より感謝いたします。

当会設立五十年間の活動の結果にこのような名誉ある表彰を受け、気持ち新たに、これからの十年、二十年をますます充実した会に育てていきたいと思っております。これからもご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願いいたします。



平成二十九年 東京都地域社会合気道指導者研修会

平成三十年三月三日、四日の二日間、東京都(足立区)地域社会合気道指導者研修会が綾瀬の東京武道館で開催された。

開会式は、東京武道館 小川香アナウンズの元に行われ、主催者挨拶(公財)日本武道館評議員 阿達雅志参議院議員、東京武道館 寺内定雄館長に続き、主管団体挨拶として東京都合気道連盟 藤城清次郎理事長から朝早くから集まった参加者への感謝と素晴らしい場所を提供してくれた主催者への謝辞が語られた。講師は以下の四名である。

中央派遣講師
大澤勇人 合気会本部道場指導部師範
梅津翔 合気会本部道場指導部指導員
地元講師
藤城清次郎 東京都合気道連盟理事長
大田勤 東京都合気道連盟副理事長

実技では、梅津指導員の準備体操に続き、大澤師範による基本の動き、稽古法についての講習が行われた。昭和八年刊行の「武道練習」、昭和十三年刊行の「武道」のコピーが資料として配付され、講習中に資料の中の植芝盛平開祖の技が多く取り上げられた。全員で立って、基本の半身の構えを細かく段階を踏んで確認する。その次に二人で組んで技に入る。片手持ち転換の練習であれば、手の高さの確認、手の向き、重心は

大丈夫?、肩は大丈夫?間合いは?と一技毎に細かく姿勢を確認してゆく。各技毎にこの確認を繰り返す稽古法が示された。

昭和八年の武道練習の本の中にある座技を行う。自分から相手の面を打ちそして同時に脇腹を突く、そこから一教表に入る、そして今度は相手が打ってくる場合に体を開いて一教裏技にする。普段行っている一教、相手が打ってくるのを取る技といささか趣が異なる練習を行った。その他も入身投げ、四方投など数多くの技を行ったが、正面打ちにする、横面打ちにする、受けが打つときに相手の面に当たってないことが多いと指摘があった。手刀をしっかりと相手に当てる稽古法に時間を取って行った。片手持ちで手の取り方も、上から持つか、横から持つか、下から持つかで技が変わる為、技に適った受けの取り方が大切と説明があった。参加者は取りと同時に受けの重要性も大きいと再認識した。

大澤師範の実技の他、講義が三回行われた。日本武道館作成DVDを視聴し、藤城理事長より、「第五回全国合気道指導者研修会の報告と東京都合気道連盟の現状」の講義が行われた。「スポーツによる突然死とその予防策の説明で定期的なメディカルチェックが大切」というまとめがなされた。二日目の大田副理事の講義では、「合気道指導の手引き」に基づいた合気道中級者指導の一考察が実技指導を交えて行われ

た。「この研修会では、普段とわざと違うことをやって欲しい。大澤先生の指導を思い出してやって下さい。」と強調した。参加者からこの研修会の感想として、「大澤師範の分かりやすい説明で充実した稽古ができた。普段の稽古では気づかない点や参考になる点が数多くあった。自分の動作をもっと深く考えてみる良い切っ掛けとなった。」というコメントがあった。

閉会式では修了証授与が、寺内館長より参加者に渡され、講師講評の後、小出智光東京武道館課長(サービスマン担当)から閉会式報告がなされ二日間に亘る研修会は無事幕を下ろした。



東京都合気道連盟行事

◇平成三十年十一月二十三日(金・祝)
平成三十年度東京都合気道演武大会
主催:東京都合気道連盟
場所:東京武道館

東京武道館合気道広域合同稽古

東京武道館主催の「合気道広域合同稽古」です。この事業は東京都合気道連盟が主管となって開催されています。たくさんの方の皆様の参加をお待ちしています。

- 平成三十年度
- 第三回 平成三十年九月十三日(木)
講師 伊藤 真 本部道場指導部師範
 - 第四回 平成三十年十一月十五日(木)
講師 難波弘之 本部道場指導部師範
 - 第五回 平成三十一年一月十七日(木)
講師 櫻井寛幸 本部道場指導部師範
 - 第六回 平成三十一年三月十四日(木)
講師 桂田英路 本部道場指導部師範
- 会費:五百円
各時間 午後六時半から八時半



第二回初心者指導法講習会報告

第二回東京都合気道連盟初心者指導法講習会は七月二十九日(日)、講師に(公財)合気会合気道本部道場指導部指導員 小山雄二先生をお迎えし、一般財団法人港区体育協会、港区合気道連盟協力の下、港区スポーツセンターにて開催された。

全員で集合写真撮影の後、開会式が行われ、東京都合気道連盟 大田勤 副理事長、司会の元、小林正明 副理事長より「第二回となる初心者指導法講習会です。参加者は今日の内容を各道場に持ち帰って下さい。」と主催者挨拶が有り、会場設営等協力を頂いた港区合気道連盟 神田昌邦 会長、数家誠司 理事長の紹介を行った。

講習は十三時三十分から開始。小山先生の御指導の下、「稽古開始三十分程前に五百mlの水分補給をすると熱中症予防になる。」という具体的な話からスタート。怪我や緊急時の対応に「指導者は責任を持つ。各道場であらかじめ打合せをして意識しておくこと。」という心構えの説明から実技に移った。

里館潤 本部道場指導部指導員を受けに転換から後ろ受け身、隅落とし、一教、四方投、内回転投げ等を例に「初心者が技を受ける時に、技の動きにバランスを取りながらナチュラルについてくるように指導して下さい。」と受け側の要点が数多く語られた。特に前受け身は「内回転投げで投げの寸前まで技を行い、実際に投げないで一旦ストップ。その後は受けが自分で安全に転がってもらうという方法が披露された。

「初心者に合気道は面白いな。続けてみたいなど思ってもらえるような指導をお願いします。」と締めくくられ講習は十五時二十分に終了した。

その後十六時から十八時まで情報交換会が去年と同じ「包子や」田町駅前店で開催され、森智洋 本部道場指導部師範も参加。講習会参加者とともに小山先生を囲んで楽しい一時を過ごした。(記：梶浦 真)



全日本合気道演武大会に参加して 蹴守道場 鳥谷一郎

東京都合気道連盟からご推薦いただき、第五十六回全日本合気道演武大会に東京都の指導者代表で演武させていただきました。演武会ではこれまで、師範の受身で出場することが多かったのですが、今回は日本武道館の白畳の上で、張り詰めた独特の雰囲気の中で演武させていただきました。大舞台で自らを見つめ直す、とても貴重な経験となりました。

演武の受身を快く引き受けてくださった本部道場の稽古仲間であるイヴァン・デセマテニユフさん、郡真由美さん、渡邊稜馬さんには、深く、素晴らしい受身を取っていただきました。また、今回の演武にご推薦

いただきました東京都合気道連盟の藤城清次郎理事長、日頃ご指導いただいております蹴守道場長、本部道場横田愛明師範、道場の諸先輩方、稽古仲間の皆様にも心より感謝しています。

私は、二十代前半に練馬区の蹴守道場で合気道をはじめ、現在は蹴守道場と本部道場を中心に稽古しておりますが、近年は他道場や海外等で稽古する機会も増え、世界中の仲間達と出会い、稽古する楽しさを日々感じております。

今後は、今回の演武での貴重な経験を種に一層稽古に励むとともに、稽古を通して世界中の仲間達と繋がり、響きあいながら、「武道としての合気道」、「潔さ」等を探求し、合気道の輪を更に大きく広げていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



新規加盟団体紹介

日本歯科大学OB教職員合気道部 代表者 吉野勝久

この度、東京都合気道連盟に加入させていただき誠にありがとうございます。

当部は合気会本部道場指導部師範安野正敏先生を相談役として迎え、二〇一一年十一月一日に創部いたしました。月三から四回、土曜日に日本歯科大学体育館道場にて、日本歯科大学合気道部OB・現役学生・大学関係者を中心に稽古しています。基本的に日本歯科大学合気道部OBを中心とした稽古人となります。歯科診療における人とのコミュニケーションが重要な職種柄、稽古をする際に相手の気を感じ常に敏感であり、気持ちと身体の不慣れな自分を作れるように指導し、日頃の生活に反映できることを目標にしています。



合気道浦上道場 道場長 浦上 豊

合気道浦上道場は二〇一二年四月一日に多田宏師範の許しの下発足しました。両国、浅草、月島、錦糸町、向島、押上等下町を中心に活動しています。多田師範の宇宙の智慧と力の使い方、翁先生が提唱された合気合の精神と一霊四魂三元八力の使い方を現代人にも分かりやすく伝え、見えない氣の世界を見える化し合気道と言うコミュニケーションに優れた武道を通して誰もが日常生活に使える様に指導をしています。両国道場 墨田区亀沢一―八―四―七〇―一 パーソナルトレーニングの場として広く他団体の門人迄受け入れ初心者から高段者まで指導をしています。

向島ベンゼン道場 墨田区向島五―三―十五
・水曜日 午前七時〜十時
・木曜日 午前七時〜十時
・金曜日 午後六時〜九時
・日曜日 午前九時〜正午
押上道場 墨田区押上二―三―五 高際ビル一階
・水曜日 午後六時〜九時



シビル合気道部 代表者 山口 高志

シビル合気道部は平成十五年秋に企業の合気道部として発足しました。基本技を中心に決して無理せず、楽しむことをモットーに稽古をしています。

稽古は両国中学校（月曜日）、吾孺第二中学校（金曜日）一九時〜二二時の時間帯で行っております。これからも合気道を普及の活動を行い、合気道の素晴らしさを伝えていく所存です。

東京都合気道連盟加盟団体の皆様、今後とも宜しくお願い致します。



大久保合気道優愛会 代表 尾島 薫

当会は前身として平成元年、朝日カルチャー大久保として合気会本部道場の御指導のもと始まりました。

平成二十三年、朝日カルチャーが撤退、

会員有志で大久保合気道優愛会を発足致しました。優しく愛情を持って稽古に励むをモットーに、水曜日の午前中、新宿区のコズミックセンター第一武道場にて稽古を行って居ります。平日の午前中なので、主婦層を中心に平日休みの中高年の方々が主な会員です。

この度は東京都合気道連盟に加入させて頂き有難う御座います。今後とも宜しくお願い致します。



編集後記

今年の夏は大変な猛暑で、日々の稽古もさぞ大変な事と察します。水分補給を十分に取り、この暑い夏を乗り切りましょう。東京都合気道連盟は、この広報を通じて年間の行事と皆様の活躍状況をお伝えしているところです。十一月二十三日（金・祝）には演武大会が開催されますが、多くの参加を頂いて紙面を賑わせたいと思います。

（小林 正明記）